

熊本厩雄教授記念号発刊にあたって

熊本厩雄教授の定年を迎えられるにあたり、ここに記念論集を発刊して、敬愛と感謝をこめて、これを教授にささげる。まことに感慨無量である。

熊本教授は、昭和25年4月、本学の開学と時を同じうして来任され、じらい、草創多端の時代を通じて今日に至るまで、20余年の長きにわたって、本学の発展のために尽瘁された。教授の本学に対する貢献は、広大多岐にわたるが、その最重要なものの一つが、研究者としての、また教育者としての誠実な活動にあったことは、衆目の見るところであろう。教授は、研究者としては、自ら先頭に立って、厳格着実な学風の創成に努力し、教育者としては、深く学生を愛し、堅実で独自の風格を有する人物の育成に心魂を傾注された。このことは、本学のあるべき基本方向を身をもって示されたものとして、私たちの深く銘記しているところである。

私は、いま過去をかえりみて、改めて、教授と本学に席を同じうし得たことの幸福を思わざるを得ない。この世に生をうけた無数の同胞の中にあって、私たちの知り得る人は、まことに少数にすぎない。永恒の時の流れの一定の点に浮び出て、一定の人々と相知るということは、けだし一つの不思議である。だが、いっそうの不思議は、互いに愛着を感じ、共鳴を見出し、相信じて事を共にし得る人人との出会いであろう。それは、稀なる運命の恵みともいわるべきものであるが、熊本教授を送るにあたり、私は、深くこのことを思い、惜別の情のいっそう切なるを覚えるのである。

昭和48年10月1日

鹿児島県立短期大学長

佐 伯 延 次 郎